

各評価スケールの目的、実施方法の一覧

評価目的	尺度名	観察	面接	特徴	時間(分)	お勧め
重症度	CDR	○		認知症一般に使用可能	10	○
	FAST	○		AD に特化	10	
BPSD	NPI		○	介護家族への半構造化面接	20	
	NPI-D		○	介護負担も評価可能		
	NPI-NH		△	施設版		○
	NPI-Q		△	家族へのアンケート版		
	DBD	○		28 項目	15	○
	DBD-13	○		13 項目バージョン		
ADL	DAD	○		認知症特有	30	
	N-ADL	○		認知症特有	10	
	BI	○		一般的	10	
うつ	CSDD	○			10	
	GDS-5		○	5 項目	3	
多面評価	MOSES	○			20	○
介護負担	Zarit 介護負担		△	22 項目。介護家族が回答	10	
	Zarit-8		△	8 項目	5	
認知機能評価						
全般	HDS-R		○		10	
	MMSE		○		10	
	NM スケール	○			10	
	山口研		○	集団で可能。地域の予防介入用	30	
記憶	WMS-R		○	論理記憶の遅延再生低下が MCI と関係	60 (10)	
	RBMT		○		20	
注意・遂行機能	FAB		○		10	
	かな拾い		○	集団で可能	5	
	TMT A/B		○		10	
構成	Kohs 立方体		○	積み木で絵を作る	20	
	時計描画		○		5	
QOL	QOL-AD	○	○	主観と客観両方評価可能	10	○
	QOL-D	○			20	
意欲	やる気スケール		○		10	
	VI	○			5	○
ソーシャルネットワーク	LSN		○		15	
生活空間	LSA		○		15	
IADL	老研式活動能力 指標		○		10	